

見とどめる、聞きとどめる

東日本大震災から、7年目に入りました。震災時、その後の様子を見聞き、ある時には質問され勉強し、一緒に地域の人とマップを作ってきた中で防災について考えさせられてきたことを記録しておきたいということでのメモです。

<予定している内容>

1. 何が被災時に支えになったか
2. 事前防災についての関心を
3. 土地造成と自然災害
4. 被害の分かれ目
5. 情報弱者の気持ち
6. 今の人と昔の人との災害観
7. 正常化の偏見について
8. おでかけ防災
9. がけ崩れと地すべり
10. 寡黙な森林環境
11. 日本列島の成り立ちと自然災害
12. 豪雨災害の怖さ
13. 地域知を知ることとは？
14. フィールドワークは楽しい
15. 災害発生から復興まで
16. 避難所で聞いた災害社会学
17. 道路インフラの重要性について
18. 公助は自助、共助があって成り立つ
19. 平野部の自然災害
20. 地域を学ぶ学校教育の効果